

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正  
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

### ①第三者評価機関名

NPO 法人ぎふ福祉サービス利用者センター ビーすけっと

### ②施設・事業所情報

名 称：優・悠・邑	種 別：特別養護老人ホーム	
代 表 者：若山 宏	定 員（利用人数）： 90 名（本館 50 名・新館 40 名） ショートステイ 20 名	
所 在 地：〒503-1543 岐阜県不破郡関ヶ原町今須 782-1		
TEL：0584-43-3155	ホームページ： <a href="https://www.sugiwakai.jp">https://www.sugiwakai.jp</a>	
<b>【施設・事業所の概要】</b>		
開設年月日 平成 10 年 5 月 18 日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人杉和会		
職員数	常勤職員 39 名（男 20・女 19）	非常勤職員 17 名（男 3・女 14）
専門職員	介護福祉士 19 名	医師 2 名
	看護師 2 名	介護福祉士 3 名
	管理栄養士 1 名	看護師 4 名
	ケアマネジャー 3 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	本館 個室（10） 2人部屋（2） 4人部屋（9） 新館 個室（40）	食堂・浴室・便所・機能訓練室・厨房 介護材料室・リネン室・洗濯室・ 静養室・医務室・霊安室・相談室・ 事務室・ケアワーカー室・湯沸室・ 休憩室・更衣室・ボランティア室・ デイルーム・

### ③理念・基本方針（※転載）

理念  
 全てに優（やさ）しく  
 いつまでも悠（ゆとり）ある  
 やすらぎの邑（場所）でありたい

基本方針

- ・利用者の人権を尊重し、サービスの質の向上を図り、「きょう一日、楽しかったよ」と言っただけの施設を実現します。
- ・地域づくりの拠点として、主体的な役割を果たします。
- ・信頼と協力をいただけるよう、法人の活動を適時適切に伝えます。
- ・職場の働きやすい環境、働き甲斐のある環境の整備と、新たな人材の確保を勧めます。
- ・コンプライアンスを徹底するとともに、経営基盤と統治機能を強化します。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

自然に恵まれた静かな環境にあり、広大な敷地に地域の人やボランティアの人たちが利用できるコミュニティハウス、全室個室の職員寮3棟（20部屋）とシェアハウス1棟、事業所内保育所があり、地域に無くてはならない福祉の拠点となっている。

福祉の先進国デンマークへ職員を派遣し、北欧トランスファーテクニックを習得し、介護者の腰への負担を減らす技法は法人職員だけに留まらず、全国から研修生を受け入れ、職員と利用者双方に優しい介護の先駆的な存在となっている。

介護の未経験者は知識と技術を兼ね備えた福祉の有資格者職員から学び、共に力を合わせ、助け合う職場環境ができており、職員間の人間関係が円滑で明るい施設である。

ホームページを毎日更新し、話題が満載で施設のことがよくわかり、開放的な雰囲気伝わってくる。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年10月1日（契約日）～ 令和8年3月6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成19年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

##### 【介護サービスの生産性向上とその成果】

職員全員が北欧式トランスファーテクニックを習得し、職員の身体的負担を軽減する技術を持って利用者にも優しい介護サービスを提供している。施設内は広く、インカムを導入することで職員が移動せず職員間の報告、連絡、相談がスムーズに行われ、インカムで話した内容は記録にも反映され常に情報が共有されている。また、眠りスキャンや介護ロボットの導入により、職員の業務の効率化につながり、介護サービスの生産性の向上と職員の負担が軽減され、職員はゆとりをもって利用者に寄り添っている。

##### 【利用者の笑顔と尊厳あるサービスの提供】

「きょう一日、楽しかったよ」をモットーに理事長自らがパフォーマーとなって施設中に笑顔を広げている。ボランティア劇団による芝居、演歌歌手のコンサート、お花見、流し

そうめん大会、誕生日会は家族会主催と各フロア主催があり、プレゼントの贈呈やケーキを用意するなど、毎月賑やかに行事が開催され、利用者・家族も参加し、笑顔の絶えない毎日が過ごせるよう職員が一丸となりサービスを提供している。また、特注の仏壇を設置し、亡くなられた利用者を供養し、献花や毎日の仏飯を欠かさず行ない、常に利用者への尊厳ある姿勢が施設内に浸透している。

#### 【働きやすい職場環境】

休暇・休業制度などワークライフバランスの充実、法人内表彰制度や福利厚生の実施、介護職のキャリアパス構築など、働きやすい職場環境となっている。施設敷地内に保育園が併設され、育児中の職員が安心して働き続けられる環境が整っている。また、職員が各委員会に属し、一人ひとりが役割と責任を担うことで、職員の働く意欲とチームワークの向上につなげている。現在、法人の用意した寮に外国籍の職員 20 名が入り、周りの職員のきめ細やかなフォローを受け活躍している。

#### 【地域に必要不可欠な存在】

施設周辺は、山あいの自然豊かで穏やかな田園風景が広がる環境にあり、地域住民の福祉の拠点と交流の場になっている。県境に近く、県を跨いで行政と連携し利用者のニーズに合わせ広域に活動している。地域住民の要望にも迅速に対応し、地域から頼られる機能の充実が図られている。

#### ◇改善を求められる点

##### 【法人ビジョン 2030 の折り返し点】

「杉和会ビジョン 2030」の 10 年ビジョンが 5 年経過し、その折り返し点となる現在、結果をもとに中期計画の見直しを職員全体で行い、可視化した具体的な単年度の改善計画を策定・実施し、さらなる法人の発展に期待したい。

##### 【IT 化の利用範囲の拡大】

法人は業務の IT 化を推進し、職員の業務改善に成果を出している。今後は効果的に利用範囲を拡大し、利用者の支援の質に反映させる段階に差し掛かっている状況にある。個別援助計画やケアプランを意識した援助とその記録の充実期待したい。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

- ①この度、第三者評価を当施設で受審し普段行っている自分たちの介護などを言葉にすることの難しさと、日々の介護を見直すことができ、施設の強みと弱みを再認識することができました。また普段から気を付けて言っていることが、ご家族のアンケートの中で高評価を頂いていたことは、施設としてとても嬉しい事であり、明日からの活力となりました。個別介護計画の説明など、ご指摘を受けた部分については、改善策を施設内で検討し、より分かりやすい説明の機会を設けていくようにしていきたいと考えています。
- 「すべてに優しく、いつまでも悠ある、やすらぎの邑でありたい」「今日一日楽しかった

よ」をさらに実践していくようにしていきます。

②前回の第三者評価受審が平成19年で、20年近くが経過する中で、その時の評価の内容も忘れていくことが多く、今回の受審で改めて日ごろの業務の不十分どころがわかり、今後の改善点として取り組んでいきます。また、不十分どころばかりではなく、良い点として評価されたところもあり、その点については、今までの取り組みが間違いではなかったと安心し、今後もさらによくなるように取り組んでいきたいと考えています。

#### ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。